

巻頭言

一年半前に誕生した本学会がここに 年報オ2号を刊行できますことは、まことによろこばしいこととてあります。

オ2号には論文が一編だけてあります。著者三塚氏の力作として、審査員が高く評価するものであり、また論文ではありませんが、こえと入会された水町氏(山教大)による興味あるレポートがあります。

本学会の年報はさうらのように勝手刷りではありませんが、その内容は号を重ねることにより充実し、論文の質もレベル・アップされるであろうことは十分予期されます。

いままでの「教育教育現代化」についての論議はとかく粗雑で、むしろ「教育不在」の教育論の感なきにしもあらずでありました。しかし最近では、新指導要領からもうかかえるように、現実と教育実践をふまえた、着実な論議と教育教育研究とが要求されてまいりました。本学会が設立した目的の一つは、まさにこのような質の高い研究を実現することでありました。この年報がこの目的をはたすため、また教育教育界に少なからぬ貢献をするため、ますます充実することを念じております。

次号以下の年報に会員諸氏から多くの玉稿が寄せられますことを念願して、巻頭のあいさつを申し上げます。

東北数学教育学会
世話人 一岡

1971年3月